

九月も後半になって、すっかり秋になりました。稲の穂も重たくなり、トンボも大小飛んでいます。ほんの一ヶ月前には、眩しい陽をあげ、滝のような汗を流して仕事をしていたのがうそのようです。

日暮れも早くまりました。午後六時を過ぎると、明りがないと周りが見えないぐらいです。秋は台風シーズンでもあります。各地での、大量の雨や強風による被害の模様が伝えられています。山形は幸い今のところ台風の接近による被害はないようですが、用心が必要です。備えあれば憂いなし。九月は防災月間です。災害に備え、普段から防災用品、避難経路などを確認しておきましょう。



雲ひとつない秋の空。H20/9/9

## 山形市学校給食センター整備運営事業

# 下河原かわら版

第四号

発行：2008年（平成20年）9月

山形建設・鹿島道路共同企業体  
（山形市学校給食センター新築工事現場）

山形市大字沼木字下河原1139-19

☎(023)647-7425

## 工事の進捗について

お盆が明けた八月下旬から、鉄骨建て方工事がはじまりました。

鉄骨はA棟（西側の棟）のA-2工区から建て始めました。鉄骨を最初に立てた日は、鉄骨工事の安全を祈願してお祓いを行い、八本の柱とそれをつなぐ梁が組み立てられました。



鉄骨建て方工事の安全を祈願する立柱式

鉄骨は、工場ではほとんどの加工を済ませた形で現場に搬入されます。このため、現場での加工はほとんどなく、場所や順序を間違わずに組み合わせて、柱や梁を太いボルトで連結して組み立てていきます。

今回の工事は、最も高いところで約10m弱とそれほど高い建物ではありませんが、建物の面積が広いために、すべてを組み立てるには時間がかかります。



最初の鉄骨が建ちました



南側に向かって進んでいます



引き続き北側にも建てていきます



9月中旬の全景（西から）

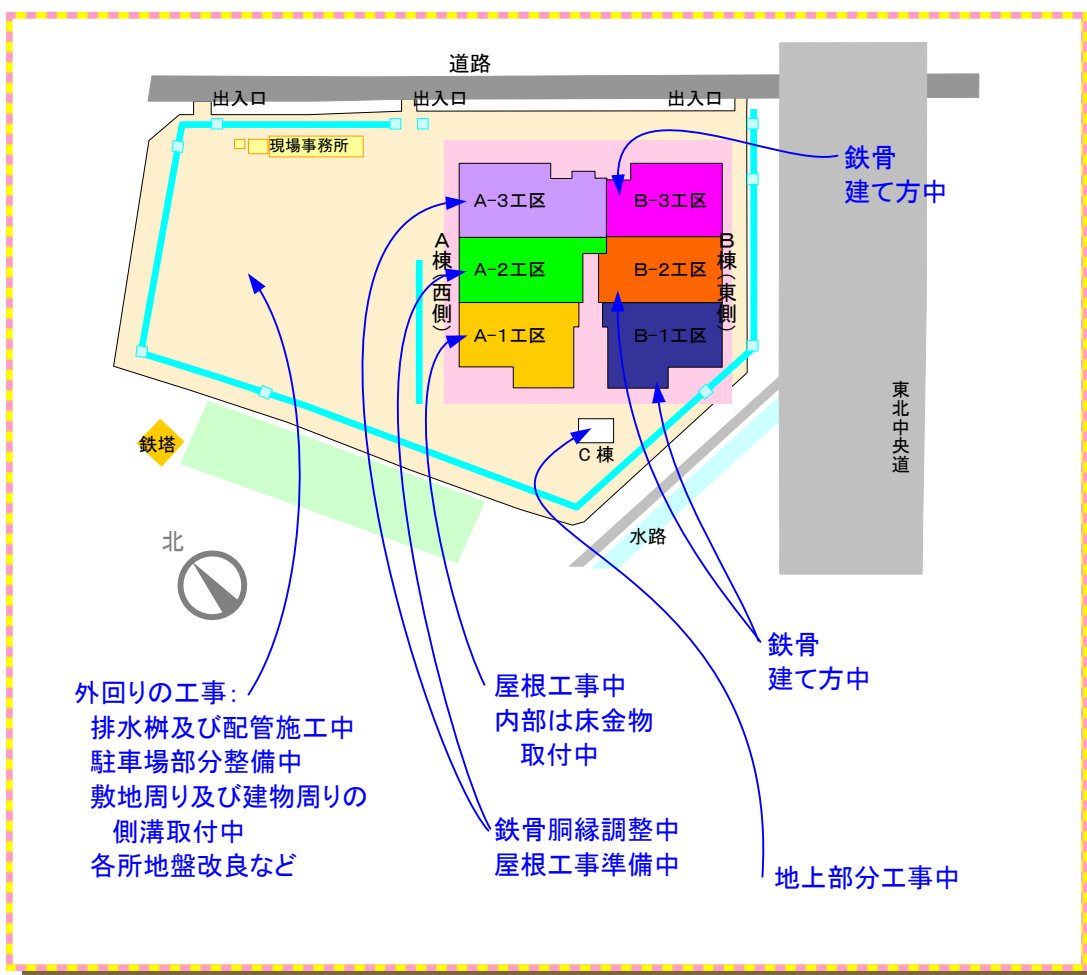


内部の、これから屋根工事が行われる部分



2階から見たA棟吹き抜け部分

九月中旬現在、A棟は完了し、外壁の取り付け、屋根工事を進めています。B棟も、工事予定通りもうすぐ完了する見通しです。





## 防災月間 地震・火災想定で 防災訓練

九月は防災月間です。

当現場では、地震発生、それに伴う火災の発生を想定した防災訓練を実施しました。

訓練時間になり、現場員が声を出しながら場内を走り、「地震発生」の連絡をしました。

作業員はスムーズに建物内から脱出し、混乱もなく避難場所の朝礼広場に集合しました。

被災者（訓練です）が一名出ましたが、仲間の救出により、無事広場に避難することができました。

広場では、火災発生を想定して木を燃やし、山形消防署からお借りした、みず消火器による消火訓練を行いました。訓練に精通する野川主任から、消火器を使った消火の際の注意点の説明がありました。



被災者を救助しました



避難後、朝礼広場に集合



みず消火器による消火訓練



野川主任による訓練説明



お借りした、みず消火器

## 立柱式 鉄骨工事の安全を祈願して

八月下旬、鉄骨工事の開始にあたり、立柱式として安全祈願のお祓いを行いました。

この日はあいにくの雨となりましたが、現場員と鉄骨工事に携る作業員が揃って、鉄骨工事の安全を祈願しました。

一本だけ鉄骨の柱が建てられ、その柱に清めの酒と塩を供え、無事に建て方が完了するよう祈りました。



塩で清める



無事、工事が進みますように



その後、雨があがりました



雨の中のお祓い



一本目の鉄骨柱

## 飯塚の歴史散歩

糸車の音がするお地藏様

現場から北に約一キロ。市営飯塚団地の北よりに『木綿取り地藏』があります。

『ふるさと飯塚の史跡』という飯塚町郷土史研究会のパンフレットによれば、『江戸時代中期、将軍吉宗公時代に建立された地藏様で、享保九申辰飯塚村講中とあり台座には「一宇一石」幟旗には「綿取地藏」とある』と記してあります。

お地藏さまの後ろには現代の置物がいくつもあります。お地藏様がさびしくならないように置かれているのかなと感じました。



※案内板のことは  
昔、静雄という若者が人さらいから逃げて来た小百合という娘を籠に隠し故郷の那須まで送り届けた。そのお礼にもらった金銀を生み出す不思議な手箱からは糸車の音がする。絶対見てはならない。約束を破って開けて見ると小さな糸車に手をかけたままで小さな娘が息絶えていた。かわいそうなる事をしたと思い、手箱ごと村はずれに葬って建てたのがこのお地藏様

その後、「この前を通るたびに木綿を紡ぐ糸車の音が聞えるのだ」と言っている。若者は飯塚武田家の人と言われる。



団地の一角にあります



ピンクのおへきをお召しです



後ろから見守る置物

## 災害防止協議会 工事の安全見守ります

私達の現場には、「災害防止協議会」という、協力業者の皆さんが運営する安全作業推進のための協議会があります。

月に一回の協議会では、協力業者の皆さん自身で現場を巡視し、問題点、危険が予測されるヶ所などを自主的に予防しています。



## 道路工事も順調です

当現場東側の中部三号線の道路工事も開通に向けて、ご覧の通り順調に進んでいるようです。



## 山形の風景

飯塚地内。一面のそば畑。

